

シャンブレア ワインキャビネット 取扱説明書



The wine care system

CLS60G (鍵付き・ガラス扉・均一温度設定タイプ)

CLS120 (鍵付き・レギュラー扉・均一温度設定タイプ)

CLS120G (鍵付き・ガラス扉・均一温度設定タイプ)



CTS120G (鍵付き・ガラス扉・多温度域設定タイプ)

◆ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、
正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証
書とともに大切に保管してください。

この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外
では使用できません。

FOR USE IN JAPAN ONLY

各部の名称

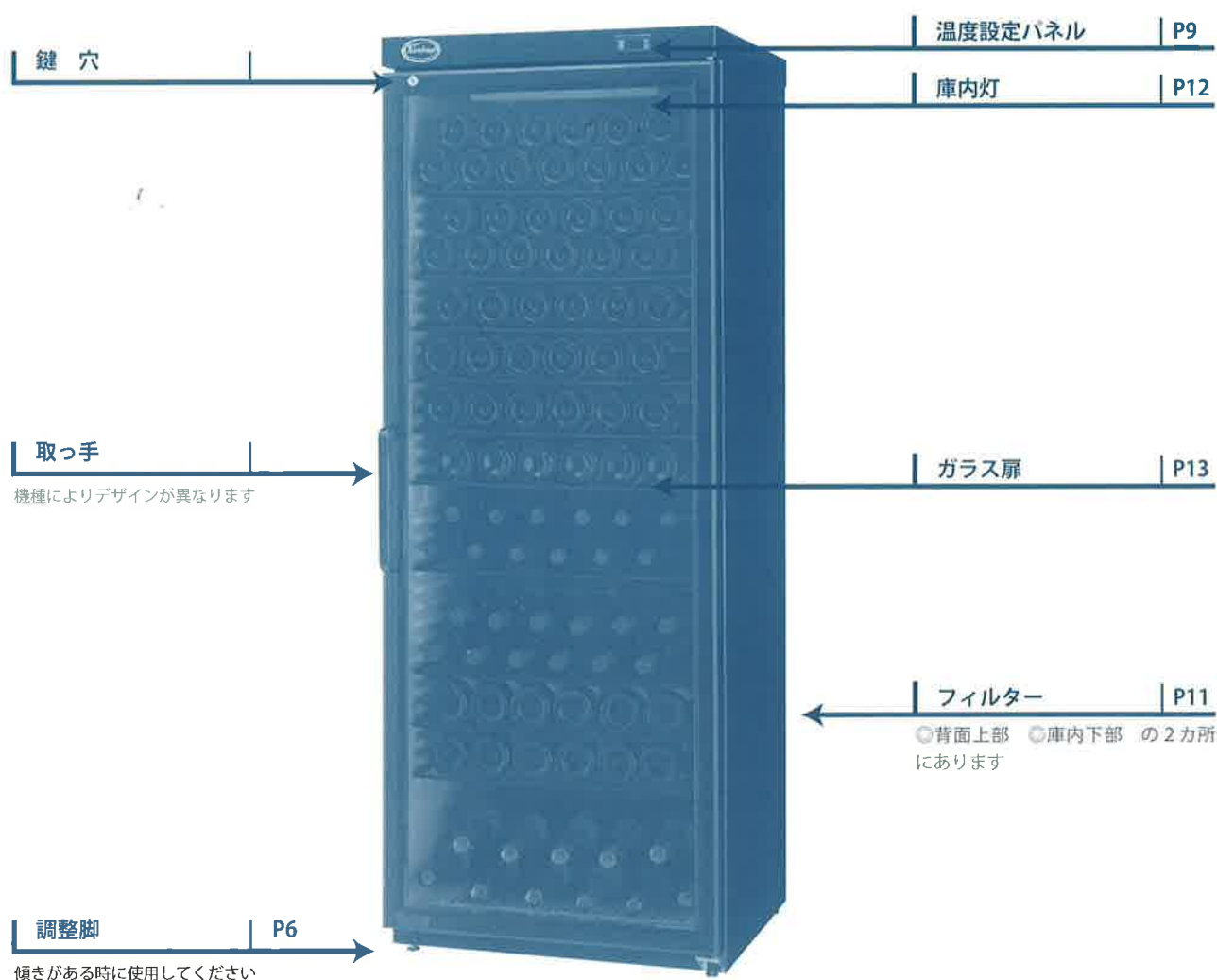
この度はシャンブレア ワインキャビネットを

お選びいただきありがとうございます。

シャンブレアはヨーロッパのワイン愛好家が認めている

ドイツナンバーワンシェアのワインセラーです。

皆様の大切なワインを守る有能なパートナーです。



<庫内に同封しているもの>

- ☐ 棚 (60 タイプ / 6 枚・120 タイプ / 10 枚)
- ☐ 取扱説明書 (本書)
- ☐ 鍵 2 個
- ☐ 保証書 (返却登録用 A 票・保管用 B 票)
- ☐ ドアヒンジ調整器具

安全上のご注意 (必ずお読みください)

※ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、充分ご理解の上正しくご使用ください。
 ※ここに示した注意事項はシャンブレア ワインキャビネットを安全にお使いいただく上で、危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。
 ※お読みになった後は、次にお使いになる場合にすぐに見られる所へ大切に保管してください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負うまたは死亡する可能性が想定される内容。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容。

表示の例



禁止事項

このマークがある行為は禁止事項です。表記のある禁止事項は必ず守ってください。



必ずして欲しい行為

安全に運転するために「必ずして欲しい行為」を表しています。



コンセント

このマークがある作業をする場合は、必ず電源プラグからコンセントを引き抜いてください。



アース取り付けマーク

設置時には必ずアースリード線で接地(アース)してください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負うまたは死亡する可能性が想定される内容。

安全に運転する為にお守り下さい。



改造は絶対しない。また、修理技術者以外の方が分解したり修理をしない。

火災・感電・けがの原因になります。また異常作動により機能不良の原因になります。



異常時(こげ・臭い等)は、運転を一時中止して電源プラグを抜き、お問い合わせください。

異常のまま運転を続けると、故障・感電・火災の原因となります。



アースリード線をしてください。

故障や漏電のとき、感電する恐れがあります。



ガス漏れがあった場合はワインクーラーやコンセントに手を触れず、窓を開けてよく換気する。

引火爆発し、火災や、やけどの原因になります。

安全上のご注意 (必ずお読みください)



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負うまたは死亡する可能性が想定される内容。

安全に運転する為にお守り下さい。



火気を近づけないでください

火気を近づけたり、火気の近い所への設置はおやめください。火のついたろうそく・タバコ・蚊取り線香・熱いやかんなどを置かないでください。火災や変形の原因になります。



可燃スプレーはキャビネットの近くで使用しないでください。

引火、やけどの危険があります。



ベンジン、接着剤、シンナー、工業用アルコール、LP ガスなど引火しやすいものは入れないでください。

爆発する危険があります。



上に重量物や水の入った容器を置かないでください。

扉の開閉により落ちるとけがの原因となります。又こぼれた水等で電気絶縁が悪くなり、漏電や火災の原因となります。



水をかけたり、水のかかる場所では使用しないでください。

電気部品に水がかかるとショート、感電の原因となります。

コンセント・電源の扱いについて



交流 100V 専用コンセントを使用してください。

それ以外のものを使うと火災、感電の原因となります。



コンセントは専用の 15A 以上のものを単独で使ってください。

他の器具と併用したタコ足配線は、本体装置に異常が発生し発火することがあります。



電源プラグはほこりを取り、コンセントは根元までしっかり差し込んでください。

電源プラグのほこりは発熱、発火の原因となります。



電源コードはキャビネット等で押しつけたり傷つけないでください。

プラグの変形や傷は発熱、発火の原因となります。踏みつけたり加工したりすると、漏電、感電や発火の原因となります。



電源コードやプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。

感電、ショート、発火の原因となります。



注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。

コンセント・ 電源の 扱いについて



電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行なってください。

コードを引っ張ると感電、ショートして発火することがあります。



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化などにより感電や漏電、火災の原因になることがあります。



電源プラグを抜いた時は、すぐに差し込まない

電源プラグを抜いた時やブレーカーが切れた時は、5～10分程度待ってから差し込んでください。すぐに差し込むとコントローラーや駆動機器に負担がかかり故障の原因となります。



背面側放熱板、下部の圧縮機に手を触れないでください。

やけどの恐れがあります。

セラーの ご使用について



床が丈夫で水平な所に据え付けてください。

不安定な所で据え付けると、転倒してけがをする原因になります。



ガラス扉に衝撃を与えない

ワインボトル等をぶつけて衝撃を与えると割れるおそれがあります。特に瓶の出し入れには十分ご注意ください。



このワインキャビネットの使用上のミス又は故障により、
ワインその他の飲料の変質があっても保障致しませんので、
運転状態や庫内温度には充分ご注意ください。

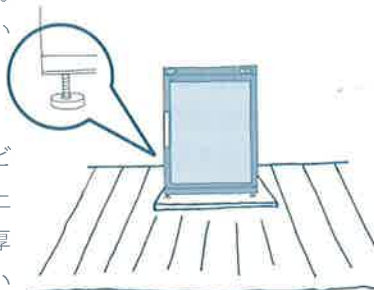
据え付け（設置場所についてのご注意）



注 意

- 不安定な床への設置は振動や騒音の原因となり、扉を開いた時にワインが転がり落ちたりして危険です。

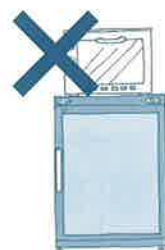
- 水平設置するために調整が必要なときはキャビネット前方の左右の調整脚で行なってください。（少し前上がりの状態が良いでしょう。）



- じゅうたん、畳、塩化ビニール製の床材などの上に設置するときは下に厚板などの固いものを敷いてください。

- キャビネットを設置する理想的な室内環境の温度は5℃～32℃です。

- 直接日光が当たる場所や暖房器具のそばに置かないでください。



- 放熱の可能性がある器具（トースター、電子レンジ等）をキャビネットの上に置かないでください。

- 設置場所を変更する際は45°以上キャビネットが傾かないように気をつけて、必ず二人以上で運んでください。尚、傾ける時は扉が上を向くようにしてください。



アース線について



次の場所で使う時は、必ずアースおよび漏電しゃ断器を取り付けてください。

- 地下室など湿気の多い所
- 土間やコンクリートの床など湿気の多い所
- 洗い場など、水がかかりやすい所

漏電しゃ断器について

水気の多い所に据え付ける場合は、アース線のほかに漏電しゃ断器の設置が義務づけられています。



放熱スペースを確保してください

キャビネットの背面には放熱板（黒の鉄格子）がついています。放熱のためキャビネット背面（背面上部2カ所の白色ボックスより）と壁の間は必ず5cm以上離し、その上方にも放熱を妨げるものが無い事を確認して、10cm以上あけてください。

又キャビネット両側面も同じよう5cm以上壁や家具等から離してください。



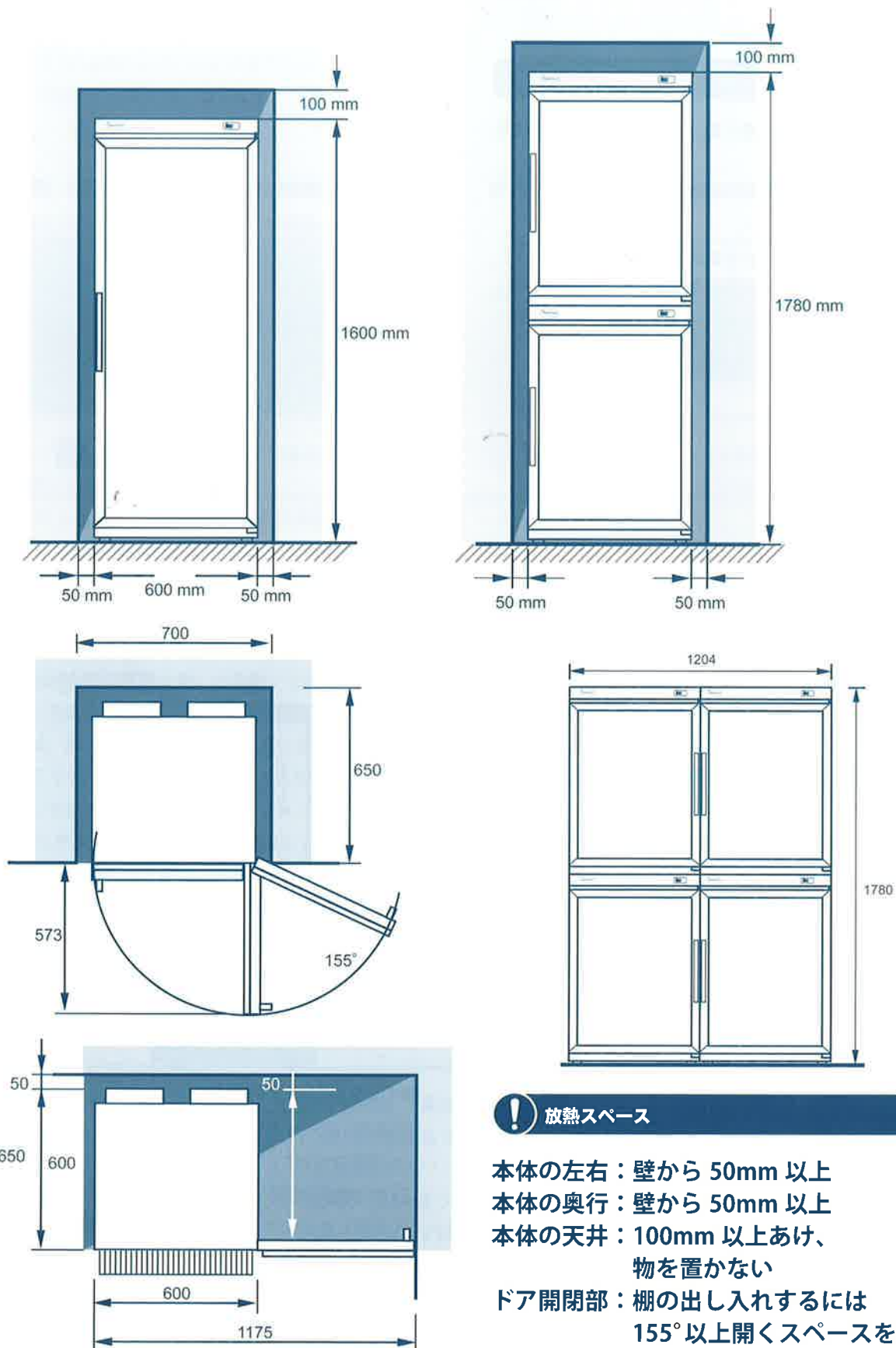
設置後12時間おいてから通電してください

キャビネット到着後は冷媒を落ち着かせるため、12時間程度時間をあけてから通電してください。特に夏期（7月～9月中）は充分時間をかけてから、庫内温度を確認の上通電してください。

電源プラグを抜いたときはすぐに差し込まず、5分程度待ってください。ご家庭の電源ヒューズやブレーカーが動作したときも同様です。

お使いになる前に

キャビネット到着後直ぐに外傷が見受けられないか、確認して何らかの外傷が見受けられる場合は、当社まで速やかに連絡してください。



！ 放熱スペース

本体の左右：壁から 50mm 以上
 本体の奥行：壁から 50mm 以上
 本体の天井：100mm 以上あげ、
 物を置かない
 ドア開閉部：棚の出し入れするには
 155° 以上開くスペースを確保
 してください。

使いはじめに

！ 設置後 12 時間以上開けて電源を入れてください

保冷剤や冷却装置が落ち着くまで、設置後 12 時間空けてください。

- (1) 庫内を拭いてください。
- (2) 12 時間後に電源プラグを差し込んでください。
- (3) 3～4 時間置いて庫内温度が下がったのを確認してからワインボトルを入れてください。

- 使い始めは構造材（プラスチックなど）のにおいがしますが、使用するにしたがい気にならなくなります。
- 専用の単独コンセントにプラグを差し込んでください。
- たこ足配線は能力低下もしくは故障の原因となります。

湿度調節

このワインセラーは、庫内のコルクがしっかりワインボトルに栓をするよう適切な湿度を保つシステムを導入しています。このシステムは、空気中から水分を取り込み、冷却ユニット（右図③）によって結露させ庫内を常に理想的な湿度に保つ仕組みになっています。

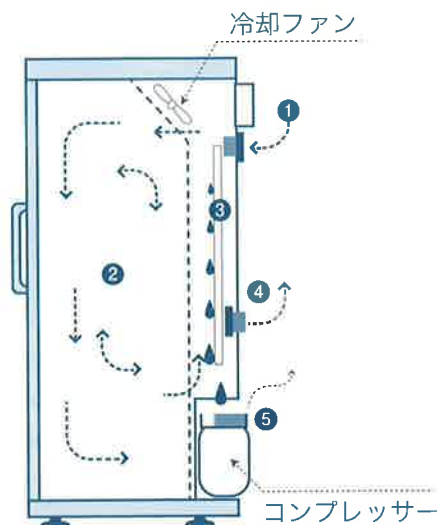
※ CTS120 G につきましては、空気の乾燥する時期に湿度がやや低めになる場合があります。
その場合はコップに水を入れるなどして庫内の湿度を補ってください。

ドレーン（排水管）について

余分な水は、庫内下部の水受けの穴からコンプレッサー上部に取り付けた水受け皿に流れてコンプレッサーの余熱で蒸発します。

CLS シリーズにはファンがあり強制換気をしています。

（CTS シリーズは庫内温度帯を保つためファンを用いていません。）



◆ CLS シリーズの場合

- (1) 設置しているお部屋から新鮮な空気と湿度を①活性炭入りフィルターを通して取り込みます。
- (2) 庫内②を適度な湿度で保ちます。
- (3) 循環した空気はフィルター④を通して庫外へ出て行きます。
- (4) 冷却ユニット③に集まる湿度を利用して庫内湿度を高めに維持しています。
- (5) 余分な水はドレーン（配水管）から庫外の水受け皿にたまり、⑤コンプレッサーの余熱で自然蒸発します。

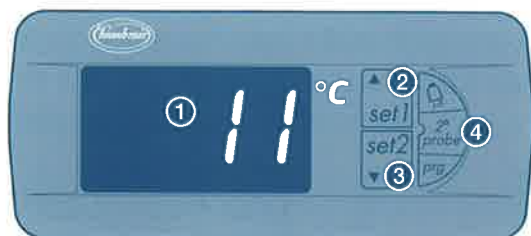
温度設定

ボトルがすでに収納されているときはボトルの本数により
6 時間～ 24 時間で設定温度となります。

！ デジタル表示に英字が表示された場合は→ P12

トラブルメッセージです。P12 をご覧ください

A-TYPE



- (1) ①が「11℃」と表示されるまで② set 1 ボタンを数秒押します。
- (2) ④の 2° probe ボタンを押すと現在の庫内温度が①に表示され、希望の温度設定が可能となります。
- (3) 設定温度を上昇させたい時は②の set 1 ボタンを、下降させたい時は③の set 2 ボタンを押します。各一回押すごとに 1℃ずつ表示温度を変化できます。
- (4) 希望温度を表示させた後、再度④ 2° probe ボタンを押すと設定表示が確定されます。
- (5) その後、表示温度は現在の庫内温度に戻ると温度設定は完了です。庫内の温度がゆっくりと設定温度に近づいていきます。
- (6) ② set1 ボタンが点灯している場合は、ヒータ機能が作動しています。
- (7) ③ set2 ボタンが点滅している時は冷却の準備中です。コンプレッサー内の圧力が一定になった時点で自動的にスタートします。
- (8) ③ set2 ボタンが点灯している場合は冷却機能が作動しています。

B-TYPE



- (1) 電源を入れる（コンセントを差し込む）と始動し、キャビネット扉上側右端のデジタルパネルに現在の庫内温度が表示されます。
- (2) ④ボタンを押すと現在の庫内設定温度が表示されます。設定温度は約 15 秒程提示します。
- (3) 希望の温度を設定します。設定温度を上昇させたい時は②ボタンを下降させたい時は③ボタンを押します。各一回押すごとに 1℃ずつ表示温度を変化できます。希望温度を表示させた後、再度④ボタンを押すと設定表示温度が確定されます。
- (4) その後、表示温度は現在の庫内温度に戻ると温度設定は完了です。
- (5) 庫内の温度がゆっくりと設定温度に近づいていきます。
- ☀ クーラー機能が作動している時に点灯します。
- ❄ ヒーターまたは霜取り機能が作動している時に点灯します。
- 🔥 庫内温度が低すぎる又は高すぎる場合に点灯します。

CLS60G CLS120 CLS120G (均一温度設定タイプ)

庫内設定温度は一定です。
6℃～ 18℃の間で設定してください。

CTS120G (多温度域設定タイプ)

庫内を 6 つの異なる温度ゾーンに設定できるので、様々なタイプのワインを収納できます。6℃に設定した時、右記のように庫内温度を保つことができますが、CTS タイプは上下間で 10℃以上の温度差を設定できるように設計されていますので、コントロールパネルでの設定は 6℃～ 8℃の範囲内でお使いいただくのが最適です。(設定温度は庫内下部の温度です。)

16℃まで庫内下部温度は設定できます



温度設定 6℃の場合

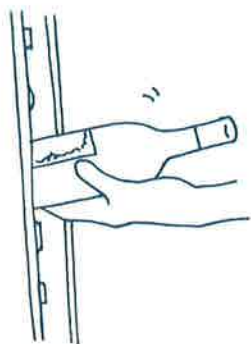
ワインをおいしく保存するために

ワインボトルは、から拭きしてから入れてください。



ワインボトルは横にして

保存するときは、コルク栓を万一の乾燥から防ぐ為に必ず横にしてください。コルク栓が乾燥すると、ボトルの中に空気が入りワインを酸化させるおそれがあります。



ラップを巻く

長期保存すると、ワインのラベルにカビが発生する場合があります。保存する前にラベル部分にラップ類を巻いておくといでしょう。



ドアの開閉はゆっくりと

ワインは振動に弱いものです。振動を与えると化学変化を進ませる要因になります。ワインに振動を与えないようにドアはゆっくり開閉してください。また、冷気の流失を防ぐためにもドアはひんぱんに開閉しないようにしましょう。

詰めすぎない

ワインを詰めすぎると冷気の流れが悪くなりワインボトルを均一に保存できない要因になります。また1棚に20本以上詰め込みますと不安定になり危険です。

光に注意

光はワインを変質させます。直射日光の当たる所をさけ、できるだけ暗い場所に保管してください。庫内灯を長時間つけたままや、常に蛍光灯などの光が当たる場所は避けてください。

10℃以上で保存してください

近日中に抜栓する予定以外のワインは10℃以上で保存してください。ワインを10℃以下の低温で保存すると、酒石酸が結晶したり、低温劣化を招くおそれがあります。スパークリングワインや冷やして飲みたいワインは、直前に取り出して、ワインクーラーや氷で適温まで冷やしますとおいしく飲みいただけます。

ワインをおいしく飲むための目安

ワインの種類		適温
赤ワイン	ボルドー	16～20℃
	ローヌ	14～16℃
	ブルゴーニュ	16℃
	軽口	10～13℃
ロゼワイン	辛口	8～10℃
	中辛口	6～8℃
	こくのある上物	10～14℃
黄ワイン	辛口	6～10℃
	甘口	約6℃
白ワイン		6～8℃
スパークリング		3～6℃

年に2回はお手入れ

庫内やラックにカビが発生する場合がありますので、カビが発生する場合がありますので、年に2回程度、から拭きすることをおすすめします。

長く使っていただくために

シャンブレアは特別定期的メンテナンスを必要としないキャビネットですが、長期間安全に使っていただくために以下の事項を守ってください。

！ キャビネットの清掃

故障の防止や消費電力の無駄を防ぐために定期的に清掃を行ってください。清掃の際は必ずキャビネットの電源を切ってから行なってください。

(1) 電源コンセントを外す



(2) 庫内背面部の放熱板（黒の鉄格子）

キャビネットが最高の機能を維持できるために、ブラシや掃除機で放熱板についた埃を定期的に取り除いてください。埃の少ない室内で使用されている場合は1年に1～2度で充分です。

(3) 庫外側面と庫内

庫内を空にして清掃してください。ぬるま湯に少量の中性洗剤を混ぜたものにひたした布を、固く絞って拭いてください。

(4) 電源プラグ・コードの安全点検をする

- 電源コードに亀裂やすり傷がありませんか？
- 電源を外すときに異常な発熱はありませんか？
- 電源プラグにゴミやほこりが付着していませんか？

(5) 電源プラグをコンセントにしっかりさし込む



揮発性のあるものは使わないでください。ベンジン・シンナー・アルコールなどを使用すると、変形やガスが発生することがあります。

◎ 科学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書きにしたがってください。

◎ 本体や庫内に水をかけないでください。

◎ 濡れた手で電源を触ったり抜き差ししないでください。

！ フィルターの交換

シャンブレアキャビネットの背面上部と庫内下部には、庫内空気循環のための活性炭素フィルターが取り付けられています。庫内の悪臭やバクテリア発生を防止します。2～3年に一度は下記の手順で交換してください。

- (1) キャビネットの電源を切ってください。
- (2) ツマミを左に90度回すと外れます。庫内のフィルターも同様です。
- (3) 新しいフィルターを挿入し右へ90度回すと、フィルターが固定されます。
- (4) 電源が切れてから5～10分の後、電源を入れてください。

フィルターは弊社にて販売しております。



！ 長期的に使用を中断する場合

キャビネットを長期的に使用しないときは、庫内を空にして電源を切ってください。

臭気、カビの発生を防ぐために必ず扉を開放したままにしてください。

こんなときは

停電になった！

- 扉の開閉を少なくしてください。(特に夏期)
- 黒っぽい布のようなものでガラス扉をおおってください。
- 氷をたくさん入れた容器を庫内に入れてください。温度の上昇を多少防げます。
- 停電が終わった後、停電の時間によってボトルに水滴がつくことがあるので布で拭き取ってください。
- 電源ヒューズやブレーカーが動作した時にすぐに差し込まず、5分程度待ってください。

庫内灯が切れた！

！まずキャビネットの電源を切ってください。

● CLS60G、CLS120G、CTS120G の場合

- (1) 庫内灯のカバーの2箇所の凹部に親指を引っかけ奥に押し込み下げるとカバーが外れます。
無理矢理ドライバーの先のようなもので引っかけると割れたりします。
- (2) 電灯は8W 昼光色を家電販売店で求めください。(国産品で対応できます。)
- (3) 庫内灯、ユニットの両端に細い縦溝があります。ユニットの細い溝に沿って電灯の両端にある2本の針をはめこみ、奥まではまったら45度電灯を指で回し込んでください。
- (4) 電源を入れてください。

庫内灯が点灯するまでに何度か点滅し、点火します。

※庫内の蛍光灯は必要がないと思われる時(業務店等で閉店中・準備中)は消灯してください。
点灯しつづけますと蛍光灯も早く切れます。

● CLS120 (レギュラー扉) の場合

CLS120の庫内灯は、弊社にて販売いたしております。お問い合わせください。

トラブルメッセージが出た！

表示	種類	表示アラーム、エラーの内容	対処
HI	アラーム	庫内温度が高すぎます	(1) (2)
LO		庫内温度が低すぎます	(1) (2)
EO	エラー	庫内温度センサーに問題があります	(1)
E1		冷却版温度センサーに問題があります	(1)
EE		設定条件等の情報が喪失しています	(1)

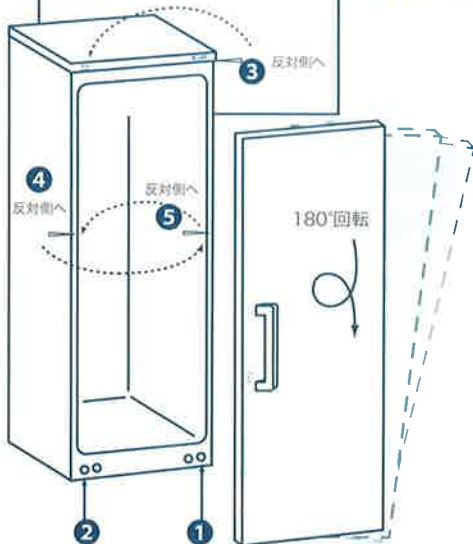
(1) 上記メッセージが表示されましたら、当社までご連絡ください。

(2) HI、LOのメッセージが表示された場合は、一度電源を切り、ワインをキャビネットより取り出して20℃以下の適切な場所で保存してください。約12時間後に再度電源を入れて状態をご確認ください。

※使用中の停電の際にも、設定温度は記憶されます。

※夏期(7月～9月中)は庫内温度が設定温度になってからワインを収納してください。キャビネットの温度設定が適切に機能するために、キャビネットの最大収納本数の最低2/3の本数を収納してください。

ドアの開きを 換えたい！



扉ヒンジ（蝶番）を右側から左側へ位置を変更する場合

このキャビネットは交換可能な扉金具が取り付けられています。※2名以上で作業してください。

<用意いただくもの>プラスドライバー、六角ドライバー（T25H）

！ まずキャビネットの電源を切ってください。

- (1) ①のヒンジ受け金具のねじをゆるめ、扉を持ち上げて外します。この時扉をしっかりとさえてください。
- (2) ヒンジ受け金具のピンをもう片方の穴に付け替えてください。そこで②に移してねじ止めします。
- (3) ③上側ヒンジ・ボルトを左に移します。
- (4) (CLS120のみ) ④ロッキング・プレート及び⑤プラスチック・ピン（白色2ヶ）の位置を反対側へ入れ換えます。
- (5) 扉を180°回転させます。
- (6) ②についているカバーを取って、①につけます。
- (7) 扉をヒンジ穴にかけ固定させます。この時扉をしっかりと支えてください。
- (8) ②に移したヒンジ受け金具にドアを取り付け、しっかりとねじを固定してください。
- (9) この時ドアが水平でなければ、②のヒンジ受け金具で調整してください。

ガラス扉（CLS60G、CLS120G、CTS120Gの場合）

- (10) 新しいドアロックの位置は、ガラスドアの枠の左下にあり、黒のプラスチックカバーをかぶせてあります。
- (11) 元のロックの位置にカバーをかぶせてください。

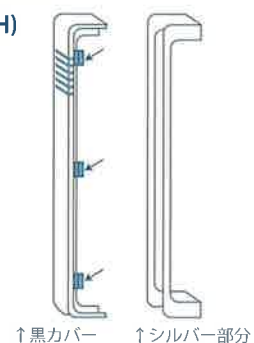
ドアの取っ手が ゆるんできた

長期利用された場合、まれにドア取っ手がゆるんできてことがあります。

<用意いただくもの>マイナスドライバー、六角ドライバー（T25H）

- (1) 取っ手黒カバーにある3カ所のストッパーをマイナスドライバーを使ってゆっくりと外して、黒カバーを取り外してください。
- (2) 上下にある六角ドライバーを付属のねじ止めでゆるみを締め直してください。
- (3) 黒カバーをカチッと音がするまで戻してください。

黒カバーが劣化・破損の場合は、弊社にて販売しております。



場所を移動 したい！ 転居する！

- 庫内のワインボトルをすべて取り出してください。
- 電源プラグを抜いてください。
- ワインキャビネット背面に庫内温度調整の蒸発皿があります。傾けて水がこぼれる恐れがあるのでご注意ください。
- 45°以上キャビネットが傾かないように気をつけて、必ず二人以上で運んでください。
- 傾ける時は扉が上を向くようにしてください。
- このワインキャビネットは50/60HZ（ヘルツ）共用で全国で使用できます。

故障かな？と思ったら

こんなとき	おたしかめください
全く冷えない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ・電源、ヒューズやブレーカーが切れていませんか？ ・停電ではありませんか？
よく冷えない	・熱いものを入れたり、扉の開閉が多すぎませんか？ ・ワインを詰めすぎではありませんか？ ・直射日光があたったり、コンロ、ストーブのそばで使っていませんか？ ・キャビネットの背面と両側面に放熱のための十分なスペースをとっていますか？ ・扉が開いていませんか？

仕様

種 類	ワインキャビネット			
型 番	CLS 60G(ガラス扉)	CLS 120G(ガラス扉)	CLS 120(レギュラー扉)	CTS 120G(ガラス扉)
冷却方式	コンプレッサー	コンプレッサー	コンプレッサー	コンプレッサー
機 能	均一温度設定タイプ ヒーター機能	均一温度設定タイプ ヒーター機能	均一温度設定タイプ ヒーター機能	多温度域設定タイプ ヒーター機能
最大収納本数	60 本	120 本	120 本	120 本
棚枚数	5 枚	10 枚	10 枚	10 枚
外形寸法	600W × 600D × 890H	600W × 600D × 1600H	600W × 600D × 1600H	600W × 600D × 1600H
定格電圧	100V	100V	100V	100V
定格周波数	50/60Hz	50/60Hz	50/60Hz	50/60Hz
定格消費電力	140W	180W	180W	180W
重 量	約 50kg	約 80kg	約 68kg	約 80kg
その他	鍵付き	鍵付き	鍵付き	鍵付き

使いやすい製品にするために製品改良に努めています。

そのため一部仕様が変わることがありますのでご了承ください。

保障とアフターサービス

保証書

保証書は庫内に入っています。必要事項をご記入いただき内容をよくお読みください。

**A 票を当社までご返送していただき、
B 票は大切に保管してください。**

保証期間

本体：お買上げ日より1年間
冷却装置：お買上げ日より3年間

修理について

保証書の規定に従って修理させていただきます。
保証期間を過ぎて後、修理可能なワインキャビネットについては、有料修理のご要望にお応えします。
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後3年です。

廃棄時にご注意ください

■家電リサイクル法

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのワインキャビネットを廃棄される場合、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適性に引き渡すことが求められます。

■冷媒について

このワインクーラーは、地球温暖化への影響がきわめて少ないノンフロン冷媒（R600a）を採用しています。
ノンフロン冷媒（R600a）は天然ガスの一種で可燃性ですが、冷媒回路に密閉されていますので、通常はもれ出すことはありません。

※従来の冷媒に使用しているフロン（R134a）は地球温暖化係数が大きいものの、日本では家電リサイクル法に基づき、冷蔵庫リサイクル処理時に全ダウ数の冷媒を回収して地球温暖化の影響を防いでいます。



**このワインキャビネットの使用上のミス又は故障により、
ワインその他の飲料の変質があっても保障致しませんので、
運転状態や庫内温度には充分ご注意ください。**

お問い合わせ

下記グローバルまでお問い合わせください。

株式会社 グローバル

携帯・IP電話の方は 0570-00-9686
固定電話の方は 0120-60-9686

（受付時間／平日 10：00～17：00）

■大阪本社

〒550-0005 大阪市西区西本町1丁目5番3号 扶桑ビル

株式会社 グローバル